

*大月中防災便り 2

この8月は全国で記録的な大雨となり土砂災害等、各地に甚大な被害をもたらした。私たちが、小学校6年生の時に経験した平成30年7月の西日本豪雨を思い出しました。やがて来る東南海トラフ地震だけではなく、日頃から集中豪雨等の風水害への備えや、皆で取り組める対策についても考えさせられました。

今回は、私たちの夏休み中の防災士としての活動について報告します。

7月26日(月) おおつき保育所ぞう組 防災出前授業

9月1日(水) 大月小学校1年生 防災出前授業



この授業では、危機管理紙芝居『地震がきたらどうするの』の読み聞かせ、避難する時の「四つの約束」の話と、最後に、「ひなんのきまり」カードを一人ひとりに配りました。

紙芝居は、家の中や外で、もし、一人にいる時に、地震が起きたら、ダンゴムシのポーズなど、どうすれば一番安全に命をまもることになるのかを教えてくださいの内容になっています。

「四つの約束」は、お(押さない)・は(走らない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)で、避難する時に必ず守ってほしいことで、それを、いつでも見られるように一枚のカードにまとめました。

小学校では、更に、教室、図書室、階段、トイレの中、そして校庭で地震が起こった時にはどうするか、場面絵を使って、具体的に説明しました。



出前授業では、興味を持ってもらえるように分かりやすく説明することの難しさを実感しました。けれど、保育所では、園児の皆さんが真剣に話を聞いてくれ、質問もしてくれたので嬉しかったし、紙芝居を見ながら地震が起きた時にどこが危険なのか分かっていたことに驚きました。

小学校では、質問をした時や場面絵を黒板にはった時の反応が良く、気持ちの面で随分と助けられました。机の下に避難する時も、皆がしっかりと机の足を押さえて隠れていたのに感心しました。

園児や小学1年生の皆さんから質問をしてくれたので、自分たちも防災について考えを深める良い機会となりました。

年齢に関係なく、一度理解できればその知識は一生使えると言います。

揺れている間は、「体を低くして、しっかりと頭を守る」ことの大切さが伝われば良かったと思います。

8月5日（木）第1回大月町実践的防災教育推進事業実践委員会・ 防災研修会に参加



私たちは、この日、高知大の岡村真先生のご講演があると聞き、研修会に参加しました。「近づく南海トラフ地震～防災の全ては事前防災にあり～」というお話で、宝永南海地震の時、大月町を襲った地震・津波被害のことも教えていただきその被害の大きさに驚きました。9月と11月19日の研究発表会でも、講演していただくことになっており、楽しみにしています。

8月6日（金）県立大方高等学校 防災学習交流会

この日は、大方高校防災委員会の皆さんから「世界津波の日」高校生サミットのこと、炊き出し訓練や出前授業等、近隣にある役場、保育園、小学校、中学校、地域住民の方々と連携した防災活動について教えていただきました。

中でも『大方高校オリジナル※HUG』を使った難所運営訓練は、地域の方からの聞き取り等による実際の個人情報が入ったカードを作成し、実施していると聞いて驚きました。

※HUG (Hinanzyo Unei Game) とは、年齢や性別、それぞれが抱える事情が書かれた避難者カードを用いて、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム

また、私たちのために地震の際の液状化現象の再現実験や、簡易式のシェルターテントの組み立てなどの体験もさせていただきました。



大方高校の皆さんは、活動の幅が広く「犠牲者0」を目指して、地域の人たちのために自分たちで計画・実践しており、そうした積極的な部分をまずは学ばなければならないと思いました。そして、自分たちもこうした経験を活かして、防災活動に取り組みたいし、学んだことを多くの人に伝えていきたいと思いました。

11月7日（日）の県内一斉自主防災訓練に合わせ、大月町内各地区で、避難訓練や吹き出訓練、消火訓練等が行われていると聞いています。

私たちも自分たちが住んでいる地区の訓練には、必ず参加したいと思うし、仲間にも声をかけていきたいと思います。

大月中学校3年生 防災士 石黒莉庵 橋本明誠 吉岡航太郎